

四半期報告書

(第24期第3四半期)

自 平成30年7月1日
至 平成30年9月30日

株式会社ケアネット

東京都千代田区九段南一丁目5番6号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 3

第3 提出会社の状況

- 1 株式等の状況
 - (1) 株式の総数等 5
 - (2) 新株予約権等の状況 5
 - (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 5
 - (4) ライツプランの内容 5
 - (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 5
 - (6) 大株主の状況 5
 - (7) 議決権の状況 6
- 2 役員の状況 6

第4 経理の状況 7

- 1 四半期連結財務諸表
 - (1) 四半期連結貸借対照表 8
 - (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 9
 - 四半期連結損益計算書 9
 - 四半期連結包括利益計算書 10
- 2 その他 14

第二部 提出会社の保証会社等の情報 15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年11月14日
【四半期会計期間】	第24期第3四半期（自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日）
【会社名】	株式会社ケアネット
【英訳名】	CareNet, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤井 勝博
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南一丁目5番6号
【電話番号】	(03) 5214-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理本部長 一政 利郎
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区九段南一丁目5番6号
【電話番号】	(03) 5214-5800（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員経営管理本部長 一政 利郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第3四半期 連結累計期間	第24期 第3四半期 連結累計期間	第23期
会計期間	自平成29年1月1日 至平成29年9月30日	自平成30年1月1日 至平成30年9月30日	自平成29年1月1日 至平成29年12月31日
売上高 (千円)	1,949,374	2,049,939	2,854,977
経常利益 (千円)	320,015	291,693	408,154
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	270,341	180,018	464,428
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	270,097	211,599	464,477
純資産額 (千円)	1,709,855	1,999,813	1,904,236
総資産額 (千円)	2,536,470	2,625,431	2,778,358
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	24.99	16.70	42.96
自己資本比率 (%)	67.4	76.2	68.5

回次	第23期 第3四半期 連結会計期間	第24期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日	自平成30年7月1日 至平成30年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.16	4.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

資本業務提携契約

相手方の名称	契約品名	契約内容	契約期間
サンバイオ株式会社	資本業務提携契約	SB623における調査・分析、疾患啓発アドボカシー等を含む開発支援業務及び普及のためのマーケティング支援業務。	平成30年9月10日から平成35年9月9日まで (自動更新規定あり)

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や民間企業の設備投資などの国内需要も持ち直しており、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、アメリカの政策不安の影響、北朝鮮や中東における地政学的リスクの高まりなど、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・マーケティング活動において、さらなる生産性向上を求めています。また上市される新薬の中心が、生活習慣病治療薬からスペシャリティ医薬品に移り変わると予想されるため、製薬企業はスペシャリティ医薬品に合った新たなプロモーション方法を必要としております。

こうしたニーズに対応するサービスを提供するなか、当第3四半期連結累計期間においては、売上高2,049百万円（前年同四半期比5.2%増）、売上総利益1,265百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。一方で、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益316百万円（前年同四半期比1.3%減）、経常利益291百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。加えて、税務上の繰越欠損金の解消に伴う法人税、住民税及び事業税の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は180百万円（前年同四半期比33.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①医薬営業支援サービス

当サービスにおいては、既存サービスの販売体制強化などの取り組みを進めるなか、医薬営業支援サービスの売上高は1,757百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益は734百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

②医療コンテンツサービス

当サービスにおいては、医師向け教育コンテンツ「ケアネットDVD」及び「その他」の売上高は122百万円（前年同四半期比15.5%減）、医療教育動画サービス「CareNetTV」の売上高は170百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

この結果、医療コンテンツサービスの売上高は292百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は102百万円（前年同四半期比14.8%減）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム（CareNet.com）」においては、医師会員獲得および維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第3四半期連結会計期間末の医師会員数は14万3千人（前年同四半期比4.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少の2,625百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ364百万円減少の2,187百万円となりました。これは主に、現金及び預金217百万円の減少、受取手形及び売掛金147百万円の減少であります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ211百万円増加の438百万円となりました。これは主に、投資その他資産219百万円の増加によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ248百万円減少の625百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ252百万円減少の606百万円となりました。これは主に、買掛金35百万円の減少、前受金96百万円の減少、役員賞与引当金51百万円の減少、ポイント引当金33百万円の増加であります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4百万円増加の18百万円となりました。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ95百万円増加の1,999百万円となりました。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数 (株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数 (株) (平成30年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成30年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,048,000	11,048,000	東京証券取引所 マザーズ	単元株式数 100株
計	11,048,000	11,048,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年7月1日～ 平成30年9月30日	—	11,048,000	—	627,045	—	35,724

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成30年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 334,500	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 10,712,300	107,123	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,200	—	—
発行済株式総数	11,048,000	—	—
総株主の議決権	—	107,123	—

② 【自己株式等】

平成30年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 株式会社ケアネット	東京都千代田区九段南 一丁目5番6号	334,500	—	334,500	3.03
計	—	334,500	—	334,500	3.03

(注) 1. 自己株式は、平成30年3月16日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分により、40,000株減少しました。

2. 自己株式は、平成30年9月19日に実施した譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分により、28,000株減少しました。

3. 平成30年3月20日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期累計期間に次のとおり自己株式の取得を実施いたしました。

① 取得した株式の種類 普通株式

② 取得した株式の総数 139,200株

③ 株式の取得価額の総額 124,953,700円

④ 取得日 平成30年3月27日～平成30年8月22日

上記の自己株式の取得の結果、平成30年9月30日現在の自己株式数は、334,500株（発行済株式総数に対する所有株式数の割合3.03%）であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名及び職名	氏名	旧役名及び職名	異動年月日
代表取締役社長 最高執行責任者 (C00)	藤井 勝博	代表取締役社長 最高執行責任者 (C00) 兼 医療コンテンツ事業部長	平成30年4月17日

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,800,485	1,582,932
受取手形及び売掛金	485,810	338,124
たな卸資産	※1 26,763	※1 25,980
前払費用	24,834	63,895
繰延税金資産	123,060	131,182
その他	91,009	45,169
流動資産合計	2,551,964	2,187,285
固定資産		
有形固定資産	11,214	18,512
無形固定資産	59,113	43,950
投資その他の資産	156,065	375,683
固定資産合計	226,393	438,146
資産合計	2,778,358	2,625,431
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,403	18,562
未払法人税等	69,297	94,988
前受金	106,432	9,991
役員賞与引当金	65,000	13,215
ポイント引当金	306,507	340,056
その他	257,787	129,861
流動負債合計	859,428	606,675
固定負債		
繰延税金負債	—	4,086
資産除去債務	14,693	14,856
固定負債合計	14,693	18,942
負債合計	874,121	625,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,045	627,045
資本剰余金	509,682	551,182
利益剰余金	874,331	989,641
自己株式	△103,701	△196,515
株主資本合計	1,907,358	1,971,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,478	33,239
為替換算調整勘定	△4,600	△4,780
その他の包括利益累計額合計	△3,122	28,458
純資産合計	1,904,236	1,999,813
負債純資産合計	2,778,358	2,625,431

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,949,374	2,049,939
売上原価	776,247	784,528
売上総利益	1,173,126	1,265,411
販売費及び一般管理費	852,771	949,105
営業利益	320,355	316,306
営業外収益		
受取利息	259	432
受取手数料	3,284	3,000
受取補償金	3,567	—
雑収入	2,286	3,228
営業外収益合計	9,398	6,661
営業外費用		
支払利息	1,096	77
為替差損	4,397	121
貸倒引当金繰入額	—	30,124
支払補償費	3,667	—
雑損失	576	950
営業外費用合計	9,738	31,273
経常利益	320,015	291,693
税金等調整前四半期純利益	320,015	291,693
法人税、住民税及び事業税	49,635	124,749
法人税等調整額	38	△13,074
法人税等合計	49,673	111,674
四半期純利益	270,341	180,018
親会社株主に帰属する四半期純利益	270,341	180,018

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	270,341	180,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	31,760
為替換算調整勘定	△367	△180
その他の包括利益合計	△244	31,580
四半期包括利益	270,097	211,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	270,097	211,599

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
製品	4,256千円	5,240千円
仕掛品	21,839	19,684
貯蔵品	667	1,056

2 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
当座貸越極度額	800,000千円	800,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	800,000	800,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
減価償却費	25,246千円	23,025千円

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月28日 定時株主総会	普通株式	43,410	8.00	平成28年12月31日	平成29年3月29日	利益剰余金

(2) 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年3月28日 定時株主総会	普通株式	64,708	6.00	平成29年12月31日	平成30年3月29日	利益剰余金

(2) 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,641,871	307,502	1,949,374	—	1,949,374
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,641,871	307,502	1,949,374	—	1,949,374
セグメント利益	621,560	120,534	742,094	△421,739	320,355

(注) 1. セグメント利益の調整額△421,739千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬営業 支援サー ビス	医療コン テンツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	1,757,654	292,285	2,049,939	—	2,049,939
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,757,654	292,285	2,049,939	—	2,049,939
セグメント利益	734,300	102,688	836,988	△520,682	316,306

(注) 1. セグメント利益の調整額△520,682千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	24円99銭	16円70銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	270,341	180,018
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (千円)	270,341	180,018
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,818,077	10,778,377

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 当社は平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成30年11月12日

株式会社ケアネット

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 由水 雅人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 菊地 徹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ケアネットの平成30年1月1日から平成30年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成30年7月1日から平成30年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ケアネット及び連結子会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成30年11月14日
【会社名】	株式会社ケアネット
【英訳名】	CareNet, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 藤井 勝博
【最高財務責任者の役職氏名】	執行役員経営管理本部長 一政 利郎
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南一丁目5番6号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 藤井勝博および執行役員経営管理本部長 一政利郎は、当社の第24期第3四半期（自 平成30年7月1日 至 平成30年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。